

講演シラバス

欲しい人材を徹底的に考える—いま求められる採用設計 ～人数合わせから脱却する、量×質に基づく人材獲得計画～

■日時／2月 19日 (木) 14:00～15:20

■講師／堺 孝善

1. 講座概要

労働人口の減少が進む中、採用はますます難易度の高い経営課題となっています。一方で、多くの企業では「人が足りないから採用する」という発想から抜け出せず、結果として採用ミスマッチや早期離職を繰り返しています。本ウェビナーでは、採用を単なる人員補充ではなく、経営戦略・人材戦略と連動した「設計の問題」として捉え直します。人数（量）だけでなく、事業フェーズに応じた「質」を含めて人材要件を整理し、採用に着手する前に整理すべき論点を明らかにします。

2. 到達目標

本ウェビナーを通じて、参加者は採用を「手法」ではなく「設計」の問題として捉え直し、経営戦略と連動した人材要件を整理する視点を身につけます。採用に着手する前に何を考えるべきかを判断できる状態を目指します。

3. 講座内容

1. 採用がうまくいかない構造	採用環境が厳しくなる中で、多くの企業が陥りがちな「人が足りないから採用する」という思考の限界を整理します。売上 100 億円を目指す成長フェーズで起こりやすい人材の詰まりや、経営と現場で生じる人材像のズレを明らかにします。
2. 経営戦略と採用の分断	経営戦略・人材戦略・採用戦略が連動しないまま進むことで、採用要件がブレ続ける構造を解説します。「人手不足」と「人材不足」の違いを例をあげながら整理し、採用を経営の意思決定とつなげて考える必要性を示します。
3. 量×質で考える採用設計	過去や現状の人数を前提とした要員計画の限界を踏まえ、量と質の両面から人材を捉える視点を解説します。事業フェーズに応じて必要となるスキルや役割を整理し、「何ができる人か（Can）」だけでなく、「どんな志向性を持つ人か（Be）」まで含めて人材要件を設計する考え方を扱います。
4. 人材要件から考える採用手段の設計	設計した人材要件をもとに、求める役割・スキル・志向性に応じて、どのように人材と接点を持つべきかを整理します。人材像と採用チャネルの関係をひも解き、「なぜ採用できないのか」「どうすれば候補者に届くのか」を整理し、成功事例を紹介しながら、実務上押さえるべきポイントを紹介します。

以上